

学校間交流を推進しましょう！

子どもたちにとって、交流活動による未知の世界との出会いや新鮮な体験などが、一人ひとりの成長に良い刺激をもたらします。これまでの学校間交流の実践からは、以下のような児童生徒の能力向上が期待できるとされています。

- コミュニケーション能力の向上
- プレゼンテーションスキルの向上
- ITスキルの向上
- 発信力の向上
- 国際的な視野の広がり
- 多角的・総合的なものの見方
- 地域を見つめ直し、自らに誇りを持てるようになる

各学校においても、積極的に学校間交流を推進していきましょう。そして、たくさんの方のひと、もの、こととの関わり・つながりを深めていきましょう。

世界遺産学習研修会について

大牟田市に残る石炭産業関連遺産群が、「明治日本の産業革命遺産 九州・山口と関連遺産」のひとつとして、世界遺産本登録に向け、最終段階を迎えています。本研修会は、私たち教職員が本遺産群についての認識をさらに高めるとともに、他の関連市町と交流を図り、世界遺産学習を広く普及・啓発するために開催するものです。

1 目的

「明治日本の産業革命遺産 九州・山口と関連遺産」が世界遺産本登録に向け、最終段階を迎えている今日、この近代化遺産を教材化し、どのように世界遺産学習を展開していけばよいのかを検討する。

2 日時

平成26年12月25日(木) 13:15～16:45

3 場所

石炭産業科学館, 帝京大学

4 日程

- 13:00 受付
- 13:15 石炭産業科学館見学
- 13:45 移動(帝京大学)
- 14:00 挨拶 大牟田市教育委員会 安田 昌則 教育長
- 14:05～15:05 各都市の世界遺産紹介(5分×11都市)
- 15:05～15:20 休息
- 15:20～15:40 実践発表 大牟田市立駛馬北小学校
- 15:40～16:10 研究協議
- 16:10～16:40 総括 福岡教育大学 石丸 哲史 教授
- 16:45 閉会



大牟田市中友小学校の実践

「子ども民生委員活動」の学習を通して

中友小学校では、5年生が総合的な学習の時間で「子ども民生委員活動」に取り組んでいます。地域の民生委員さんとともに中友校区の様々な人々と行事に関わる中で、自らが地域に働きかける力を高めていくことを目標に行っています。これまでにやってきた主な取組として、「一人暮らし高齢者訪問」「絵本教室で認知症を学ぶ」「運動会の招待状配り」「徘徊模擬訓練への参加」「赤い羽根共同募金活動」「敬老会の準備・参加」等を行ってきました。これらの活動を通して、相手の立場に立って考え行動していくことにより、他者への思いやりの心を育むことができました。また、地域の方々に感謝されるという経験により、自己肯定感が高まるとともに、相手を尊重して接しようと思えることができるようになってきました。今後も、地域とともに様々な活動に取り組みながら、課題解決の力を高めていきたいと思っています。



大牟田市立明治小学校の実践

「明治となかよし大作戦」～幼保小交流を通して～

明治小学校では、他者・社会・自然環境との関係を認識し、ものごと主体的に参加する態度を育てるためにエネルギー・環境教育と福祉教育に重点を置いて学習をしています。1年生の生活科「明治となかよし大作戦」では、都市計画・公園課の方をお招きして「みどりの教室」を行い、明治公園の秋見つけをしました。校庭や公園で拾った木の実や落ち葉を使って、お面・洋服・ダンゴりごま・葉っぱの魚などを作りました。いよいよ、次は、例年交流を続けている近くの幼稚園や保育園の年長さんを招待しての「秋と遊ぼう会」です。1年生の子どもたちは、昨年のことを思い出しながら、意欲的にグループに分かれてお店の準備をしたり、説明の練習をしたりしました。「秋と遊ぼう会」では、成長した1年生の姿が見られました。

